



Taka Ishii

Gallery

3-10-11 B1 Sendagaya Shibuya-ku Tokyo #151-0051, Japan
tel +81 (0)3 6434 7010
fax +81 (0)3 6434 7011
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

ショーン・ランダース

会期：2015年12月5日（土） - 2016年1月16日（土）

会場：タカ・イシイギャラリー 東京

作家来日オープニング・レセプション：12月5日（土）18:00-20:00

タカ・イシイギャラリーは、ニューヨークを拠点に活動するショーン・ランダースの6度目となる個展を開催いたします。

コンセプチュアル・アーティストであるランダースの根底には、作家にとって残るものが唯一作品であるとき、作家であることはどのような意味をもつのか、そしてどのように将来にわたって意味のある存在であり続けることができるのか、という問題意識があります。ランダースはこの問いを追求するために、さまざまな伝統的／非伝統的な手法とメディアを用いて制作を続けてきました。絵画の永続性と、絵画が作家の分身となる方法、これこそが8点の新作におけるランダースの関心です。

これらの新作において、ランダースは「ヴァーシュ(雌牛)の時代」(1947-48年)のルネ・マグリットの絵画にヒントを得ました。この時代のマグリットは、それまでの安定したシュルレアリスティックな作風から離れ、より自由で風刺的な、スケッチのように粗い筆致の作風に変貌した時期でした。ランダースは、自身の芸術的実践における自由の必要性の象徴として、ヴァーシュの時代のマグリットが多用したタータンチェックを流用(アプロプリエイト)しました。芸術的な自由を介して初めて、作家はオリジナルの作品を制作することが可能であり、このようにして作品が永続性を獲得するとランダースは信じています。

7点の作品には、北米に生息する哺乳動物の姿が描かれ、これらの動物は細心の注意を払って描かれたスコットランドのタータンチェック柄の毛皮に覆われています。これらのタータン柄は、マグリット作品からの直接的な引用であり、ランダース自身の芸術的自由への追求を表現しています。この図柄はもともと、スコットランドの各民族を象徴するものですが、ここではランダースの一作品として判別する手段であるのみならず、絵画の中の動物達を異形の姿にすることで、時間を超える旅の中で彼らが無関心から守ろうとするランダースの意図を表現しています。またランダースは、現世の人々だけでなく後世の人々の心をも惹きつけるように、動物達を可愛くてチャーミングな姿に描きました。

本展では、上記の作品とともに、ポプラの森の夜の雪景色が描かれた1点の絵画を展示いたします。この一見牧歌的な場面の木々の樹皮には、言葉とイメージが刻まれています。ランダースにとって、テキストとイメージの混在は過去を振り返る行為です。1990年以來、これらの組み合わせはランダースの作品の特徴となっています。孤独な羊飼いが通り過ぎる人々のためにポプラの樹皮に言葉とイメージを彫りつけたように、ランダースもまた、後に残る物は唯一作品であることから、自身の最も深い内面性を未来に残そうと形にします。この点で、作家と未来の鑑賞者はともに時間旅行者です。鑑賞者は絵画が描かれた過去の空間に遡り、作家は作品を通じて未来に進みます。ランダースはこのように

語っています。「ぼくが立つ場所、このキャンパスの前で、今あなたが読んでいる痕跡を刻みつける。ここが地球上に存在する最高の場所だ。」絵画の前に立つことは、過去と現在と未来に同時に立つことができる数少ない場所のひとつなのです。

ショーン・ランダースは 1962 年マサチューセッツ生まれ。1986 年イエール大学芸術大学院卒業。近年の個展として、セントルイス現代美術館(2010 年)、クストハレ・チューリヒ(2004 年)などがある。また、広く国際的な展覧会に参加しており、「Picasso in Contemporary Art」ダイヒトアハーレン・ハンブルク(2015 年)、「Aquatopia: The Imaginary of the Ocean Deep」ノッティンガム・コンテンポラリー(2013 年、テート・セント・アイヴス(2014 年)に巡回)、「NYC 1993: Experimental Jet Set, Trash and No Star」ニュー・ミュージアム(ニューヨーク、2013 年)、「Drawing Time, Reading Time」ドローイング・センター(ニューヨーク、2013 年)、「Busted」the High Line(ニューヨーク、2013-2014 年)、「Midnight Party」ウォーカー・アート・センター(ミネアポリス、2011 年)などが挙げられる。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますようお願いいたします。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー 展覧会担当: 上松エリサ プレス担当: 新田京子、増山貴之

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-10-11 B1 tel: 03 6434 7010 fax: 03 6434 7011

e-mail: tig@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com 営業時間: 12:00-19:00 定休日: 日・月・祝祭日



Sean Landers

"Polar Bear Cub (North Slope, AK)", 2015

Oil on linen

52 x 46 in. (132.1 x 116.8 cm)

© Sean Landers



Sean Landers

"Fox Kit (Litchfield, CT)", 2015

Oil on linen

38 x 55 in. (96.5 x 139.7 cm)

© Sean Landers